

令和4年度

播磨町 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：1名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - ・認知症の人やその家族への支援体制の充実
 - ・認知症サポーター養成講座の普及
 - ・認知症カフェの内容充実
 - ・認知症初期集中支援チームとの連携
 - ・チームオレンジの活躍促進

報告者氏名:保険課 地域包括ケア係 井上
認知症地域支援推進員 森

播磨町 認知症施策全体図

指針	具体的な取り組み
普及・啓発	<ul style="list-style-type: none">・講演会（認知症映画会）の開催・認知症サポーター養成講座・キャラバンメイト連絡会の開催・図書館で認知症コーナーを設置・相談先の周知
認知症の早期対応の推進	<ul style="list-style-type: none">・もの忘れ健診の実施・物忘れ相談プログラム（タブレット）の公的施設への設置・認知症ケアパスの普及・認知症初期集中支援チームの設置
認知症の人や家族への支援	<ul style="list-style-type: none">・認知症地域支援推進員の配置・認知症カフェの拡大・認知症家族会の実施・介護従事者等の認知症対応力向上研修
認知症高齢者等の見守り体制の充実	<ul style="list-style-type: none">・高齢者等の見守り・SOSネットワークの普及、強化・あんしんキーホルダーの配布
認知症の人やその家族の視点の重視	<ul style="list-style-type: none">・認知症地域支援推進員活動の推進・本人ミーティングの実施

標題 地域の方への認知症啓発促進のための取り組み

認知症サポーター養成講座の積極的な実施

対象者	人数
町民向け	83名



町民向け認知症サポーター養成講座の様子

播磨町では、地域住民への認知症に関する正しい知識の普及啓発を図るため、定期的に認知症サポーター養成講座を開催しています。また、地域で認知症サポーター養成講座の開催を希望される団体等があれば、積極的に企画・開催をさせて頂いています。



播磨町内の学校の生徒を対象とした認知症サポーター養成講座の受講者数

対象者	人数
小学生	269名
中学生	336名
高校生	170名
合計	775名



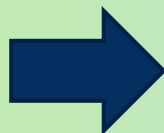
認知症サポーター養成講座の様子

播磨町では、小学生の時から認知症サポーター養成講座を実施しています。また、中学校・高校でも、養成講座を実施しています。子どもの頃から認知症について学ぶ事で、認知症の方に対して偏見を持たず、やさしい対応ができる様に取り組んでいます。来年度は、播磨町内のすべての小学校・中学校・高校で、認知症サポーター養成講座を開催できる様に取り組んでいきたいと思ひます。

認知症カフェ（オレンジカフェ）の拡大

令和3年度（2か所）

幸ちゃんカフェ
野添カフェ



令和4年度（7か所）

幸ちゃんカフェ
野添カフェ
カフェ夢の森
あっぷるカフェ
はっぴーカフェ
四つ葉カフェ
ひだまりカフェ

播磨町では、令和4年度に認知症啓発促進の拠点となる「認知症カフェ（オレンジカフェ）」を地域のみなさまの協力を得ながら、新たに5か所オープンさせることができました。認知症の方やその家族、認知症に関心のある地域住民の方々が気軽に集い、相談できる場を拡大する事で、認知症の啓発を行い、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの促進を図っています。

認知症カフェ（オレンジカフェ）の様子



各オレンジカフェでは、茶話会やミニ講話、様々なアクティビティを実施し、認知症の方でも気軽に参加し語り合える雰囲気づくりを心掛けています。また、参加者同士の交流が積極的にできる様に工夫もされています。

本人ミーティング



認知症カフェで本人ミーティングを実施しました。その中で、参加者からの「新型コロナウイルスのため、外出する機会が減った」、「みんなで外に散歩に出掛けたい」という声をきっかけに、ノルディックウォーキングをしながらの散歩を企画しました。



【チームオレンジはりま】の活躍

チームオレンジはりまのメンバー構成

ボランティア	18名
事業者	10名



チームオレンジのメンバーが
福祉用具体験会を企画・開催

認知症サポーター養成講座やステップアップ研修で認知症の方への対応力を身に付けた地域の方々が、【チームオレンジはりま】のメンバーとして認知症カフェの運営や認知症の啓発活動のボランティアとして活躍をされています。
今年度は、認知症の方にでも使いやすい福祉用具の提案を、福祉用具業者とタッグを組んで福祉用具体験会という形で実施しました。

最後に・・・

今年度は、認知症になっても気兼ねなく集える場であり、地域の方が認知症のことを身近に感じてもらえる場として、認知症カフェ（オレンジカフェ）を地域の方々のご協力の下で増やす事が出来ました。それに伴い、チームオレンジのメンバーも増え、各カフェの運営や認知症のイベントのお手伝いなどの活躍の場も増えてきました。

今後も、認知症啓発活動を積極的に行い、認知症にやさしいまちづくりの為の取り組みを地域の方やチームオレンジのメンバーと共に取り組んでいきたいと思ひます。